

Ⅲ 定期刊行物の編集プログラム

担当講師：森山直人(京都造形芸術大学舞台芸術学科教授)

日 程：2013年11月～3月予定 ※具体的な日程は、参加者と相談の上決定いたします。

会 場：京都造形芸術大学内 一般教室

テ ー マ：劇場刊行物というメディア

概 要：現在、全国の創造的な公共劇場は、ニュースレターやウェブサイトなどを通じて、何らかの形で文字媒体による情報の発信を行っています。本研究センターでも、2002年度から現在まで、本研究センター機関誌『舞台芸術』を刊行し続けています。このプログラムでは、20013年度末に刊行予定の同誌18号の企画・編集のプロセスに立ち会いながら、活字媒体を通じた「舞台芸術」の発信の可能性や、その社会的意義について、講師と受講者が討議しながら検証します。

第1回 テーマ「〈機関誌『舞台芸術』〉を通して考える」(3時間)

第2回 テーマ「さまざま劇場刊行物を通じて考える」(3時間)

ゲストコメンテーター：小崎哲哉(編集者)

第3回 「編集作業を通して考える」(4時間)

※第1回・第2回は、レクチャー1時間、ディスカッション2時間。第3回は実習2時間、ディスカッション2時間。

問合せ先

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 TEL. 075-791-9437 FAX. 075-791-9438

平成25年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

「大学の劇場」を活用した総合的な 舞台芸術アートマネジメント人材育成事業

主催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

舞台芸術の未来を切り開く「真に創造的なアートマネジメント人材」の発掘、育成、およびリカレント教育を目的として、「大学の劇場」としての京都芸術劇場の諸機能を活用しながら、〈伝統〉から〈コンテンポラリー〉まで、複数のジャンルに関わる以下のアートマネジメント人材育成プログラムを開催いたします。対象は、

- 次代の舞台芸術を担うべく、これからキャリアを積もうとしている制作志望者の方
- すでに制作者としてのキャリアを積み、今後のスキルアップのためにさらなる知見と経験を求めている制作者の方
- すでにキャリアを積んだ上で、舞台芸術の新たなジャンルの知見や業務を学ぶことによって、トータルな視野を備えたリーダー的存在として飛躍を志す制作者の方

です。どうぞふるってご応募ください。

I 制作者のためのレクチャープログラム

- ① 舞台制作者のための「舞台芸術論」 全5回 ※①は一般公開いたします。
- ② 舞台制作の「現場学」 全10回

対象人数：10名程度 ※基本、全プログラムの参加必須です 申込み締め切り：2013年10月25日(金)

II 公演制作の実践プログラム 詳細は11月下旬の告知を予定しております

- ① 伝統芸能企画「春秋座—能と狂言」〈公演本番：2014年2月2日(日)〉
- ② コンテンポラリーダンス企画「ダンスゼミ&ラボ」〈開催期間：2014年2月26日(水)～3月10日(月)予定〉
- ③ マルチメディアパフォーマンス企画「葵上／二重の影」〈公演本番：2014年3月29日(土)、30日(日)予定〉

対象人数：各企画 3名程度

III 定期刊行物の編集プログラム

『舞台芸術』18号(2014年春刊行予定)をめぐって

対象人数：各企画 3～5名 申込み締め切り：2013年10月25日(金)

参加費：無料 ※本事業にかかる交通費は自己負担となります。

詳細

I 制作者のためのレクチャープログラム

① 舞台制作者のための「舞台芸術論」

舞台芸術における「真の創造性」とは何であり、かつまた、その「創造性」にとって「劇場」や「フェスティバル」のような「環境」はどのような役割を果たしてきたのかというテーマについて、舞台芸術史、芸術哲学を幅広く横断しながら批評的に検証するシリーズです。現場主義にとらわれず、アーティストや作品の可能性を的確に見極め、絶えず変化する「社会」の状況に向けて柔軟かつ大胆に「劇場」の役割を発信できる創造的なプロデューサー、制作者にとって必要な「教養」を学びます。

会場：京都造形芸術大学

日程：2013年11月1日(金)～2014年2月10日(月) [各日：18時～21時]

第1回 11月1日(金) 20世紀演劇における「劇場」——創造を可能にする多様な「環境」
講師：渡邊守章(京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター所長)
森山直人(京都造形芸術大学 舞台芸術学科教授)
会場：NA 401(人間館NA 棟4階)

第2回 11月12日(火) 「祝祭」はいかに「発明」されたか——国際フェスティバルの「起源」
講師：橋本裕介(京都国際舞台芸術祭プログラムディレクター兼事務局長)
渡邊守章、森山直人
会場：NA 402(人間館NA 棟4階)

第3回 1月20日(月) ダンスの「創造性」——ウィリアム・フォーサイスを事例に
講師：浅田彰(批評家/京都造形芸術大学大学院学術研究センター所長)
会場：NA 102(人間館NA 棟1階)

第4回 1月28日(火) 現代演劇における「俳優」①——演出家の視点から
講師：三浦基(演出家/京都造形芸術大学客員教授)
会場：NA 102(人間館NA 棟1階)

第5回 2月10日(月) 現代演劇における「俳優」②——劇作家の視点から
講師：松田正隆(劇作家、演出家/立教大学教授)
会場：NA 401(人間館NA 棟4階)

② 舞台制作の「現場学」

現在、日本の舞台芸術界を牽引する舞台芸術プロデューサーのうち、蔭山陽太氏、橋本裕介氏の2名を招聘し、二人のコンセプト・デザインのもとに、「舞台制作の現場」をテーマにしたレクチャー&ディスカッションを計10回に亘って実施します。

会場：京都造形芸術大学

コースA

担当講師：蔭山陽太(ロームシアター京都支配人 兼 エグゼクティブプロデューサー)

日程：2013年11月20日(水)～2月21日(金) [各日：18時～21時]

第1回 11月20日(水) 「劇場」の現場学——「機構」と「組織」を中心に
会場：NA 405(人間館NA 棟4階)

第2回 1月22日(水) 「劇場」のクリエイティビティ——アーティストと共に創造することとは？
会場：NA 404(人間館NA 棟4階)

第3回 1月23日(木) 「劇場」のプログラミング①——年間計画の立て方
会場：京都芸術劇場 楽屋1

第4回 2月19日(水) 「劇場」のプログラミング②——いかに観客を巻き込むか
会場：京都芸術劇場 楽屋1

第5回 2月21日(金) 「劇場」と「社会」——「平成中村座」との共同作業の実例を中心に
会場：京都芸術劇場 楽屋1

※上記の各回テーマは若干の変更が生じる場合があります。

コースB

担当講師：橋本裕介(京都国際舞台芸術祭プログラム・ディレクター兼事務局長)

日程：2013年12月16日(月)～12月20日(金) [各日：18時～21時]

テーマ：舞台芸術における「国際」という思考 ～フェスティバルの事例を元に

概要：芸術が本質的に他者との出会いを希求するものであるとするならば、「国際」的な視野に立った仕事の展開を選択肢のひとつとするのは、自然なことだと言えます。しかしながら、高度に複雑化したネットワークの中でグローバル化した現在の状況は、そのよって立つ視点そのものを問い直す必要があるはず。グローバルとローカルの相克の中で、現在可能な「国際」という思考はどのようなものか。過去30年にわたって国際的なネットワークの中で仕事をしてきた2人のゲスト講師を招きながら、参加者自ら実践的に思考する場を作り出します。

第1回 12月16日(月) 開講ゼミ(橋本裕介)
会場：NA 404(人間館NA 棟4階)

第2回 12月17日(火) 自主ゼミ問題設定のための講義(橋本裕介)
会場：NA 404(人間館NA 棟4階)

第3回 12月18日(水) 18時～19時…自主ゼミ①
19時～21時…ゲスト講義(佐藤まいみ/彩の国さいたま芸術劇場プロデューサー)
会場：NA 404(人間館NA 棟4階)

第4回 12月19日(木) 18時～19時…自主ゼミ②
19時～21時…ゲスト講義(市村作知雄/NPO法人アートネットワークジャパン代表)
会場：NA 404(人間館NA 棟4階)

第5回 12月20日(金) 18時～19時…自主ゼミ③
19時～20時…自主ゼミ小発表
20時～21時…閉講ゼミ(橋本裕介)
会場：NA 404(人間館NA 棟4階)

※開講前に読んでおくべきテキスト/書籍を指定する場合があります。